

**令和3年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和3年12月
海老名市立有馬中学校**

令和3年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語, 算数・数学)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

(2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査 (例)調査教科への興味・関心、読書時間、勉強時間の状況、ICT機器の使用状況、生活習慣 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

調査実施日

令和3年5月27日(木)



中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し合いの話題や方向を捉えることができるかどうかをみる。
- ・質問の意図を捉えることができるかどうかをみる。
- ・話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えることができるかどうかをみる。
- ・書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くことができるかどうかをみる。
- ・書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫をすることができるかどうかをみる。
- ・文脈の中における語句の意味を理解しているかどうかをみる。
- ・場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解しているかどうかをみる。
- ・登場人物の言動の意味を考え、内容を理解しているかどうかをみる。
- ・文脈に即して漢字を正しく読むことができるかどうかをみる。
- ・事象や行為などを表す多様な語句について理解しているかどうかをみる。
- ・相手や場に応じて敬語を適切に使うことができるかどうかをみる。
- ・伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫をすること。
- 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解すること。
- 文脈に即して漢字を正しく読むこと。
- 質問の意図を捉えること。

◆課題のある点

- 話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えること。
- 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くこと。
- 文脈の中における語句の意味を理解すること。
- 相手や場に応じて敬語を適切に使うこと。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 話し合いを効果的に進め、互いの発言を踏まえて、考えをまとめたり広げたりする指導の工夫。
目的に沿って、互いの考えを伝え合ったり生かし合ったりする話し合いや議論、討論などの言語活動を通して指導すること。
- 読み手の立場に立ち、自分が書いた文章について捉え直し、分かりやすい文章に整える指導をすること。
表記や語句の用法、叙述の仕方、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめることについて指導すること。
- 文章の内容を理解したり自分の考えを形成したりする指導をすること。
文学的な文章を読んで考えたことなどを記録したり伝え合ったりする言語活動を通して指導すること。
- 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使う指導をすること。
敬語に関する個々の体験的な知識を整理して体系付けるとともに、人間関係の形成や維持における敬語のもつ働きを理解するように指導すること。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・整式の加法と減法の計算ができるかどうかをみる。
- ・具体的な場面で、一元一次方程式をつくることができるかどうかをみる。
- ・扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解しているかどうかをみる。
- ・関数の意味を理解しているかどうかをみる。
- ・与えられたデータから中央値を求めることができるかどうかをみる。
- ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる。
- ・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる。
- ・数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができるかどうかをみる。
- ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる。
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。
- ・ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・相対度数の必要性和意味を理解しているかどうかをみる。
- ・データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。
- ・平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの理由を説明することができるかどうかをみる。
- ・錯角が等しくなるための、2直線の位置関係を理解しているかどうかをみる。
- ・ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見いだし、それを数学的に表現することができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること。
- ヒストグラムからある階級の度数を読み取ること。
- 相対度数の必要性和意味を理解していること。
- 錯角が等しくなるための、2直線の位置関係を理解していること。

◆課題のある点

- 関数の意味を理解していること。
- データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。
- 平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの理由を説明すること。
- ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見いだし、それを数学的に表現すること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 関数の意味を理解するために、二つの数量について、変化や対応の様子に着目してその関係を的確に捉えること。
具体的な事象の中から伴って変わる二つの数量を取り出し、それらの関係を見いだす活動を重視すること。また、独立変数と従属変数との違いを考察する場面を設定すること。
- 判断の理由を説明するために、データの傾向を的確に捉える活動を充実させること。
日常生活や社会における問題を取り上げ、その問題の解決のために収集したデータの傾向を的確に捉える活動を充実させること。
- ある条件の下で成り立つ事柄を見いだし、それを数学的に表現する活動を充実させること。
ある条件の下で図形を動かしたとき、常に成り立つ事柄を見いだし、それを数学的に表現する活動を充実させること。

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 国語、数学の勉強が好きですという回答が多いこと。
- 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしているという回答が多いこと。
- 数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えるという回答が多いこと。

◆本校の課題と思われるところ

- 家で自分で計画を立てて勉強をしているという回答が少ないこと。
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますかという問いに対して勉強しないという回答が多いこと。
- 国語、数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますかという問いに対して、役に立つという回答が少ないこと。

生活について

◆本校のよかったところ

- 学校に行くのは楽しいと思っているという回答が多いこと。
- 人の役に立つ人間になりたいと思っているという回答が多いこと。
- 人が困っているときは、進んで助けていますという回答が多いこと。

◆本校の課題と思われるところ

- 自分の思っていることや、感じていることをきちんと言葉で表すことができますかという問いに対して、できますという回答が少ないこと。
- 新聞を読んでいますという回答が少ないこと。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますかという問いに対して、楽しいと思う回答が少ないこと。

今後の具体的な取組について

- 誰もが分かりやすく、意欲的に取り組める授業を行います。
有馬中学校職員全員でユニバーサル・デザインを取り入れ、生徒一人ひとりが主体的な深い学びができる授業法を研究し、実践します。また、家庭学習を計画的に進められるよう、自学の意欲向上に努めます。
- 体育祭・合唱祭で生徒自らが計画・運営をすることで、主体性や乗り越える力を育てます。
また、これらの行事は、全学年が協力して行うことから、自分と違う意見も尊重しながら話し合いを深め、社会性を育成します。
- 総合的な学習の時間では、人間関係プログラムを実施することで、良好な人間関係の育成に努めます。また、広島修学旅行では平和やいのちの尊さについて学びます。
- 支援体制を組織的に行い、人間関係や個人の悩みに対して相談活動を充実させ、丁寧に対応します。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

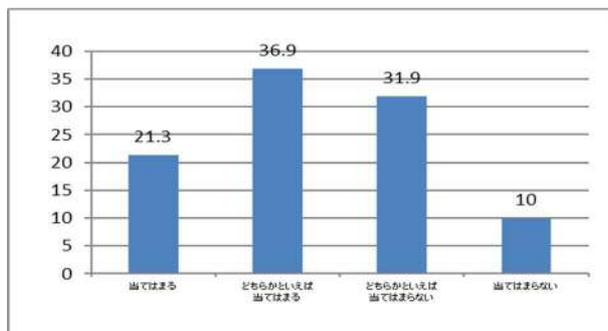
令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

1 計画的な家庭学習を！

「早寝早起き」「朝ごはん」を踏まえた上で、十分な家庭学習の時間を確保できる生活リズムを確立させるようサポートをお願い致します。

学習の確実な定着には家庭学習が必要です。初めは少ない時間でも家庭学習をする姿を誉め、地道に努力する姿勢を育てましょう。

家で自分で計画を立てて勉強している

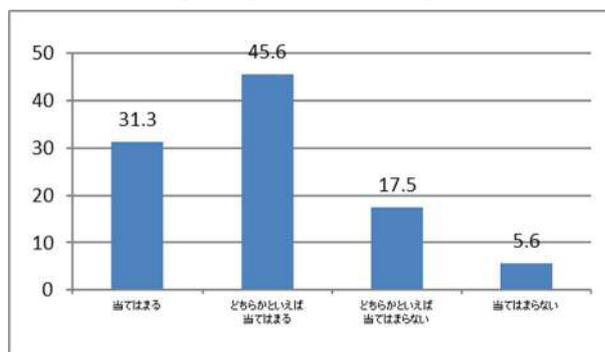


2 自尊感情を高める対話を！

自分らしく、生き生きと生活していくためには自尊感情は不可欠です。

仲間と比べたり、兄弟と比べたりして自分に自信を失いがちなこともあるこの時期です。是非、家庭の中でも本人の長所を認めたり、自信が高まる対話・会話が持たれると良いと思います。どんなに小さなことでも結構です。「今更」「照れくさい」「わざわざらしい」とおっしゃらずに、是非実践してください。

自分には良いところがある

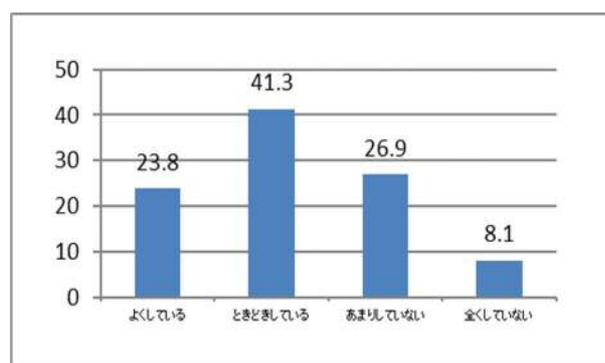


3 チャレンジの後押しを！

「失敗すると叱られる」「失敗すると格好悪い」といった不安があるのかもしれませんが。「失敗は成功の母」とも言われます。仮に失敗しても、特に若いうちは何度でもやり直しがききます。又、失敗の原因を分析し、課題を突き止め、地道に取り組み、再チャレンジすることで道が開けていくことは多々あります。

「迷った時には敢えて厳しい挑戦することを選ぶ」ことを信条にさせるくらい、背中を押してあげてください。

難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している

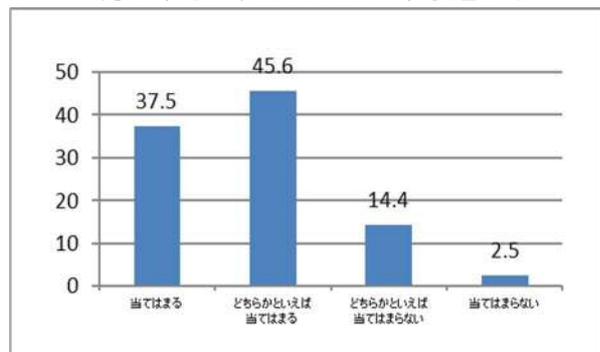


4 意図的な仕事・役割の分担を！

学校行事を終えると目に見えて、生徒は成長しています。それぞれが責任をもって自分の分担を果たして大きな目標を達成した後は、他の役割を担った仲間への感謝の気持ちが溢れます。それと同時に、取り組み期間中の苦しい時に助けをもらい、協力してもらったことへの感謝の気持ちを自分の口からも、文章でも表しています。

ご家庭においても、是非責任を持って取り組まなければならない役割分担をしていただき、助け合い・思いやり・気遣いの大切さを実感させていただきたいと思っております。

自分でやると決めたことはやり遂げる



資料 学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日摂る
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る
- ・コンピュータやスマートフォン等でゲームをする時間が短い

【主体的・対話的で深い学び】

- ・学習した内容を見直し、次の学習につなげている
- ・自分の考えが伝わるように工夫して発表している
- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で学習計画を立てて学習をする
- ・家に本が多くある

【学級活動、道徳】

- ・学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決している
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、話し合ったりしている

【自尊感情・規範意識】

- ・自分には、よいところがあると思う
- ・自分でやると決めたことはやり遂げる

結果の公表にあたって

- 公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。
- 公表することによって、保護者や市民の皆様にも市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。
- 「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係

